

2024年度 全国通信三田会 春期幹事会の開催



千葉通信三田会会長 渡邊 正和
(1976法)

風薫る5月…、とはいえず暑さを感じる25日(土)・26日(日)の2日間、「全国通信三田会春期幹事会」が千葉県市川市J市川駅近くの「山崎製パン株式会社企業年金会館」を主会場として、千葉通信三田会協賛により開催されました。5年前の2019年5月、秋田市で秋田通信三田会協賛により開催されて以来、地域通信三田会協賛による春期幹事会の開催となります。

午後1時より参加者37名、ZOOM参加者12名で幹事会が開始され、瀬戸田地域連絡部長の議長のもと会議は進められました。塾歌斉唱そして山岡会長の挨拶では、会の開催に対する謝意と全国通信三田会の活動等の経過報告があり、特に新潟・鹿児島で地域の通信三田会が発足の運びとなったと報告されました。その後、各部・各地域の通信三田会からZOOMを交えて報告があり、質疑応答がされました。「通信課程卒業生1万7000人達成」行事の件、会計や幹事会の人事の件、各地域の特色ある活動報告などが続きました。会議終了後の午後3時20分より、栗生賢一郎氏(慶應義塾評議員・基金室長)により演題「慶應義塾の教育・研究・医療」(2023年を振り返って)として、講演をいただきました。氏は、日頃から当会が大変お世話になっており、長年にわたり、塾員課等のご勤務を



栗生賢一郎氏

通じ教育や研究・医療を支える様々な事業や業務に携わってこれ、通信教育の部門にも大きくご尽力をいただいています。講演では冒頭で自己紹介をされる中で、ご出身地であられる

千葉県を愛情深く、興味深い内容・切り口で紹介いただき、そして本題に入りました。塾の目的は、単に慶應だけでなく、日本国を意識したものであることや、塾のアクションプランのもとに教育・研究・医療の分野でそれぞれ様々な施策が進められている現状を紹介されました。学問を通しての国内外との交流が益々重要になってきている現状を知ることが出来、特に留学に関する施策や、沖縄科学技術大学院との研究部門における交流などを紹介・報告され、大変興味深く拝聴させて頂きました。また、慶應義塾の医療チームが被災地に派遣されている事など、初めて見聞したことも多く、自分の情報の乏しさに反省した次第です。

講演後、会場を移し、懇親会が36名の参加で開催されました。北は北海道、南は九州など全国からの参加者が数年ぶりの再会を喜び、旧交を温め、初めての出会いに感謝し、大いに盛り上がった中で会を終了することが出来ました。会に参加の幸治典子氏(全国・千葉通信三田会副会長)からは、御着物姿での踊りを御披露いただき会に花を添



幹事会(後ろの題字は渡邊正和会長による直筆)



懇親会

えて頂きました。懇親会終了後、有志12名により、恒例の音楽の勉強会をさせて頂きました。翌日は快晴のなか、同じ市川市内にある「東山魁夷記念館」に12名参加で研修会を行いました。記念館までの途中に名刺(めいさつ・有名な由緒あるお寺)があり、徒歩移動の参加者は広い境内を散策し歴史に触れることが出来ました。「東山魁夷」は昭和を代表する画家であり、数々の名作を世に残し、長年お住いになった市川市の住居を記念館に改装し、現在に至っています。絵を観て、記念館の小さなお庭を散策し、そして名残惜しいお別れとなりました。こうして春期幹事会は開催され、無事終了することが出来ました。栗生賢一郎氏をはじめ、様々な方々のご尽力により成し遂げられたものと幹事会の開催に関わったものとして深く感謝しております。ありがとうございました。

「URL変更のお知らせ」全国通信三田会ホームページは2023年9月からURLが下記のように変更になりました。

「新HPのURL」<http://zenkoku2mitakai.sakura.ne.jp/>
「全国通信三田会」住所変更等受付 ztm-soumu@googlegroups.com

「ご寄付いただきありがとうございます」
川端 美穂 様 (石川県) 迫田 勲 様 (広島県)
篠崎 仁史 様 (愛知県) 柴田 章弘 様 (東京都)
伏屋 重晴 様 (愛知県) 星野 寿美 様 (群馬県)
水木 國美 様 (北海道) 以上 7名

◆会への連絡は下記へご連絡くださるようお願いいたします。
◎会へのご意見など 事務所へは郵送のみでお願いします。
緊急の用件の場合：山岡会長 Tel 029-875-0533 (夜間7時～11時まで)
住所・姓名変更退会逝去者など：田沼方 Fax 03-6874-6718
(住所変更は下記塾員センターへご一報！)
<https://www.dco1.adst.keio.ac.jp/kj/jukuin/mailform.html>
◎新入会申し込み、会計関係 (文書で)
〒340-0003 埼玉県草加市稲荷2-5-2 大川成一方
◎「全国通信三田会報」原稿送り先
〒376-0101 群馬県みどり市大間々4-18 星野寿美方
Tel & Fax 0277-73-1529 Eメール: sincere@vi.sunfield.ne.jp
【次号原稿締め切り：令和6年12月25日まで 原稿字数800字位】

「会報発送にあたり、梅沢印刷様へ送付先(住所等)を提供し、封入発送いただいております」
「卒業生の皆様へは、ご卒業時に会報を発送させていただいております。この機会に是非ご入会いただきますようよろしくお願いいたします。」

第119号 2024年(令和6年)7月16日発行

発行 全国通信三田会 会報は正会員の情報紙です。
発行人 山岡恒夫(会長) *年会費2千円
事務所 〒300-1282 *郵便振替番号
茨城県牛久市井ノ岡町 00120-2-18806
2117 山岡恒夫 複数年度お支払いの意向を
TEL 029-875-0533 お持ちの方も会計処理でき
編集人 星野寿美(広報部長) るようになりました。
印刷所 梅沢印刷所(東京都) *会への連絡は8面の連絡先へ

第一一九号

山岡恒夫会長に 「旭日小授章」が授与

去る令和6年5月14日、春の叙勲式典にて、全国通信三田会会長の山岡恒夫さん(74)が、皇居に招かれ天皇陛下から「旭日小授章」を授与されました。

この名誉ある受章は、山岡さんの長年にわたる茨城県牛久市議会議員ならびに茨城県議会議員・同議長としてのご功績によるものと思われまます。この慶事

に対して地元茨城県はもとより、全国各地の数多くの関係者から、連日のように沢山の祝意が寄せられております。慶應義塾からは伊藤公平塾長、堤林剣法学部長ならびに麻生泰慶連合三田会長から慶びの祝電を頂きました。

山岡さんは、1995年から3年7か月牛久市議会議員、2015年には第108代副議長。県議会議員としては、児童福祉・高齢者・防災・建設など6期24年間地元県・市民のため



山岡会長ご夫妻

山岡さんは、いつも自然体で明るい笑顔を絶やさない、周りの皆を魅了する人です。

に奉職されてまいりました。かつては牛久青年会議所第4代理事長、現在は地元出身の元横綱稀勢の里の後援会幹部、消防団幹部などを淡々と勤めています。映画やテレビに出てくる牛久の広い田園は、人に安らぎを与える景色を提供します。そして山岡さんはその田園を耕す農耕の人でもあります。

御礼のご挨拶

山岡恒夫(1973法)

皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

令和6年春の叙勲に際しましてはからずも 旭日小授章の栄に浴しましたところ、早速、慶應義塾から 伊藤公平塾長 堤林剣 法学部長 麻生泰慶 連合三田会会長の御三方から祝電を頂戴いたしました。誠に有難くお礼申し上げます。

私は、昭和25年に茨城県の農家の跡取りとして生まれました。両親の望みもあり、県立高校の農業科に学び、専業農家として生活をしてきました。45歳の時に市議会議員になり、48歳から72歳まで県議会議員として働かせていただき、その間、茨城県

議会議長も務めることができ、幸運な人生でした。高校を卒業して家業についていたのですが、無趣味のため時間がありませんでしたので、慶應義塾大学法学部の通信教育課程に入学申し込みをしました。茨城慶友会で素晴らしい先輩や仲間に出会って、22歳で卒業できました。卒業してよかったと思ったことは、人に会ったとき気後れしなくなったことでした。

卒業祝賀会で、通信三田会からユニコン賞をいただきましたので、三田会を手伝うようになりました。塾生として学んだのは4年間でしたが、塾員としては5年を超えました。学生の時に学んだことよりも、三田会で先輩や仲間の皆さんから学んだことのほうが、はるかに多い人生でした。まさに福澤先生の「人間交際」のお蔭です。皆様方の長年にわたる心温かいご指導ご支援に深く感謝申し上げます。

末筆ではございますが、皆様のご健勝とご多幸を衷心よりお祈り申し上げ、謹んでご挨拶とさせていただきます。

2023年度卒業式 5年ぶりの対面卒業祝賀会

3月25日(月)「2023年度慶應義塾大学卒業式」が小雨の中、日吉記念館で行われ、伊藤公平塾長から6151名の新卒業生へ学位記が授与された。通信教育課程からは305名の新塾員が誕生した。(文117名、経100名、法89名)

通信教育課程生にとって卒業の喜びはひとしおであり、その感激の学位記を胸に16時から場所を移動し、ワンスガーデン武蔵小杉店にて「2023年度卒業祝賀会」が開催された。コロナ禍の影響で5年ぶりの対面での開催であった。会場には、110名ほど(新卒業生約90名+教職員・塾員約20名)が集い、卒業準備委員の品田京子君と水口賢司君の司会による開会の辞があり、慶應義塾のビデオ映像が流れ「塾歌」を斉唱し、会は進められた。

最初に池田幸弘常任理事より「皆さまの長い期間の学びへの熱意に敬意を表します。様々な社会経験から理解できることも増える。卒業して学びを終えるのではなく、これからも楽しく学び続けてください」とお祝辞をいただいた。

次に乾杯の運びとなり、岡原正幸名誉教授が、「慶應義塾大学通信教育部で250人以上の卒業指導を担当し、講師派遣も50回以上経験した。スクーリングでは、通学生とは目の色が違う学習意欲へ真摯な姿勢に感動した。通信教育に携



池田幸弘常任理事



大屋雄裕通信教育部長

わったお陰で、有意義な教員を続けられた。」とご挨拶の後、力強いご発声で乾杯し、和やかな歓談に入った。

笑顔溢れる中、ご列席いただいた先生方をご紹介。上枝美典、岡原正幸、穂刈亨、井奥洪二、玉井清光の各先生から「おめでとう、ございます」とご挨拶をいただき、大いに沸き欲談を一層楽しく盛り上げていた。

盛会の中、全国通信三田会山岡恒夫会長より「皆さんに卒業いただき、通信教育課程の卒業生は75年間で1万7千人を超えました。卒業は母校との別れではありません。社中の構成員として慶應との結びつきがさらに深まっていくことを意味します。約40万人の塾員が複数の三田会に所属して、人生をより豊かなものにしていきます。全国通信三田会では、在学中、慶友会のリーダーとして学友のために尽力された方に、ユニコン賞の賞状と盾を贈呈させていただいております」と祝辞があり、ユニコン賞贈呈が行われた。

続いて、大川成一副会長より卒業祝賀会準備員会へ、本日開催までのご尽力をねぎらい金一封が手渡された。

祝賀会終盤、卒祝委員長の瀬戸加奈江君より「本日は、5年ぶりに対面にて、卒業祝賀会が開催できましたことを、大変うれしく思います。通信教育課程を卒業する私たちは、多様なバックグラウンドをもち、学ぶことを楽しむ一方で、時間と孤独との闘いも経験しました。そして、コロナ禍の影響により、交流が制限された際には、慶友会の存在が支えとなりました。これから私たちは、塾員の一員となります。慶應義塾が求める「社会の先導者」として、知的探求の継続と他者を尊重し社会に貢献するために、努力を継続することをお誓いいたします」と謝辞があった。

最後に大屋雄裕通信教育部長より「おめでとうございます。益々のご活躍をお祈りします」とご挨拶をいただきました。

と祝辞をいただいた。そして、映像と共に「若き血」と「慶應讃歌」を斉唱し、大盛況のまま閉会となった。



岡原名誉教授乾杯



ユニコン賞受賞者と山岡会長・吉浜副会長

【星野寿美(2008文)記】

ユニコン賞受賞者紹介

ユニコン賞は在学中に慶友会活動において著しい功績のあった塾生に対し、全国通信三田会がこれを顕彰するものである。本年は、次の2名に、賞状と盾が贈呈された。

演端久美子君(福岡慶友会)

2020年4月入学、21年に福岡慶友会入会、22年から役員、23年4月から副会長に就任。24年3月(経済学部卒業)

ニューズレター毎月寄稿。他県の慶友会とのネットワーク拡大に寄与するとともに、会活動を活性化させることに貢献。年4回の講師派遣で、企画、連絡調整にも尽力し、直近の講師派遣では、参加した慶友会は13団体、受講申込者は62名。他慶友会から賞賛の声など対外的な信用の拡大にも貢献している。今後は福岡通信三田会をはじめ全国通信三田会でも活躍を期待している。

＜受賞のコメント＞

この度は、福岡通信三田会の古賀会長や福岡慶友会の友慶会長のご推薦をいただき、この

ような栄誉ある賞を受賞させていただけたことを大変ありがたく存じます。

福岡慶友会に在籍中は新型コロナ感染症拡大防止のため、様々な制約を受ける中で活動でした。会員の皆様のおかげでオンラインでもコミュニケーションが円滑に図られ、学びを止めず希望を持って学習を続けられる場が形成できました。これからは、微力ではありますが塾員として通信三田会の発展のために力を尽くしたいと存じますので、どうぞよろしくお願いたします。

福吉 稔君(東京三田クラス)

2013年10月入学。同時に慶友会東京三田クラスに入会。15年5月役員に就任し六大学野球応援担当として企画を重責。17年会長として19年まで務める。23年9月(経済学部卒業)

18年度は東京三田クラス創立70周年記念行事開催の準備に尽力、19年5月に三田キャンパスにて通信教育部長の奈良教授に記念講演。記念祝賀会を開催。会員のモチベーションの維持とアップに尽力。現在は広島に転居。広島通信三田会をはじめ全国通信三田会でも活躍を期待している。

＜受賞のコメント＞

このたびユニコン賞をいただき、誠にありがとうございます。

塾生時代は慶友会・東京三田クラスに所属し、応援担当役員(チケットの手配、懇親会の企画等)として、レポート作成を後回しにして神宮球場や秩父宮ラグビー場等に通っていました。本年4月は隅田川に「早慶レガッタ」の応援に行っていました。広島に居住していることもあり、まだ三田会での活動はしていませんが、今後は先輩の方々と親睦を深め活動していきたいと、よろしくお願いたします。

会長紹介

現役学生へ学習指導し 社中合同へご尽力



兵庫通信三田会 会長
筒井 俊晴 (1993文)

こんにちは、兵庫通信三田会の筒井です。以前は、大阪の「慶友三田会」に所属していましたが(現在も在籍中)地元兵庫を盛り上げようと、前任の今中会長の後任として2012年に会長になり、12年目になりました。

まず自己紹介です。

私が卒業した高校は兵庫県で学力が一番低く、学年1位の人の偏差値が32しかなく、開校以来誰一人国公立大学に合格した人がおらず、毎年暴力事件で新聞を賑わすため私も受験した大学を全て不合格になり、偶然立ち寄った書店で「各種通信教育ガイド」という書物を見て、無試験(現在は小論文等書類審査あり)で入学できることを知り入学しました。が、学力がないため単位などとれるわけがなく、たちまち路頭に迷いました。

けれども、人間失うものがなくなると何でもできるもので、電車の中でも、信号待ちの少しの間でも、テキストを放さず頑張りました。でも根本的に頭が悪いため、「努力」そのものが生卵をぶつけてコンクリートの壁を壊そうとするようなもので、手も

足も出ない年月が続きました。それでも「諦めない」という気持ちが重要だったらしく、4年目ぐらいで少しずつ、日本語にも関わらず、何が書いてあるのか意味不明だったテキストが読めるようになり、徐々に単位が取れ始め、3年後に無事卒業できました。卒業後は出版社に就職し、大学担当の営業に配属され、全国の大学(慶應義塾大学だけは担当を外してもらいました)を担当し、父親が死亡し家業を継いだ時に退職しました。現在はその会社も他の人に任せて、会社勤めに戻っています。

三田会活動としては、主に「現役学生の学習指導」を中心に行い、平行して毎年夏と冬の懇親会が主な活動です。なぜ「現役生への学習支援」を中心に行っているかというと、自分自身が現役時代に苦労したため、できない人の気持ちに分かるのと、自分が教えて卒業させた人たちが力を合わせて、盤石な三田会を構築することが大切だと考えたからです。

ちなみに関西には、「慶友三田会」という素晴らしい通信三田会があり、また私自身、「慶友三田会」で本当に貴重なことを教えていただきました。しかし現実には、関西の隅々まで「慶友三田会」だけでカバーすることは難しいです。ならば兵庫が盤石な通信三田会を構築した上で、「慶友三田会」と連携し、さらに通学課程の方々の三田会である「関西合同三田会」と連携すれば、本当の意味での社中合同が完成される。

私の役目は時間がかかるものの、手作りで、一人でも多くの卒業生を排出し、三田会に来ていただき、活躍していただくことを考えています。

札幌通信三田会 第52回総会報告

札幌通信三田会会長 吉田真己 (1980法)

2024年4月13日(土)午後5時より、ホテル札幌ガーデンパレスにおいて、10名の出席で第52回定期総会を開催いたしました。始めに、小島副会長より、開会の辞が述べられ、全員起立し「塾歌」を声高らかに歌いました。次に、会長の私から次のように挨拶をいたしました。

「日本での通信教育が慶應義塾から始まり、通信教育が開始されて75周年を迎えた。卒業生の累計が今年3月で一萬七千名に達した。

昭和24年の入学、昭和27年に最初の34名が卒業し、その中の1名が札幌におられた。昨年の当会の事業計画で新塾員歓迎会を11月に開催予定であったが、3月と9月の卒業生5名を対象に参加の意向を確かめた。出席を希望する方がいなかったため中止とした。新塾員歓迎会対象の新塾員は、全



国通信三田会からの情報提供があり、その方々に案内している。他の計画は予定どおり実施できたので、後ほど事業

◆◆◆◆◆

山陰通信三田会 復活懇親会

山陰通信三田会 事務局長 松本浩子 (1995経)

2024年3月3日(日)11時半、鳥根県松江市の「エクセルホテル東急」内レストランにて、「山陰通信三田会 懇親会」を行いました。山陰地方(鳥根県・鳥取県)の通信三田会は高齢化が進み、以前役員をされた方々がご逝去されたり、施設に入られたり、体調不良などの理由で退会され、一度休会となりました。

この状況を懸念された瀬戸田誠全国副会長のご指導により「山陰地方の再建プロジェクト」が行われて、今回小さいながらも素敵な懇親会を開くことができました。



左から周藤さん、江角さん、瀬戸田さん、松本さん

瀬戸田誠様にわざわざ広島県福山市からご参加いただき、江角英之様(会長代行)、周藤千雪様(事務局幹事)、松本浩子(事務局)の4名で集まり交流を深めることができました。

京滋通信三田会 「都鳥の会」 講演会報告

京滋通信三田会会長 戸井善彦 (1984法)

3月3日(日)11時より、京滋通信三田会「都鳥の会」講演会が催され、旧幾松近くの「がんこ高瀬川二条苑」にて、青森・福島・横浜・徳島・岡山・広島・山口など全国各地から35名が参集しました。講演会は、岡田和治講師による「一人一人の人生と魂に向き合って」と題し、法務省が管理する矯正施設の概要・矯正教育就労支援・死刑執行の流れなど、事項別に要領よく解

説され、氏が設立した『若葉義塾』への思いなど、大変貴重で意義のある話をしていただきました。

「がんこ」様の配慮により部屋を移り、懇親会が始まりました。相大二郎名誉会長が挨拶。「私の講演(2020.10/11)以来、3年半ぶりに『都鳥の会』が多数のご出席にて開催出来た」ことに感謝する言葉に続き、小山幸夫顧問の発声で乾杯、「がんこ」様の高瀬川御膳に舌鼓を打ち、美しい庭園の眺めも格別、和やかに懇談・懇親を深め、富家通江顧問の心温まる締め挨拶で散会しました。

◆司会進行及び報告・会長 戸井善彦 ◆写真・スタッフ 河合久美子

「一人一人の人生と魂に向き合って」講演要旨 岡田和治 (2019文)

矯正の現状として、名古屋刑務所暴行死亡事件が、受刑者の改善更生について、社会全体で考えなければならないという機運となりました。特に福祉・公共団体・企業・行政が一体となって取り組んでいる就労支援があり、出所者に「居場所(住居)と出番(仕事)」を斡旋し、社会復帰を支援する事業で、ハローワークにも刑務所出所者専属の職員を配置し、企業もお好み焼きの「千房株式会社」社長 中井 貫二氏(塾員)が先頭に立って就労支援をバックアップしています。社会が連携して社会の課題に取組むことは、再犯防止のみならず、一人一人の人生に向き合うことであり、「魂」の救済になります。一方で、刑務官は、死刑執行という「魂」への向き合い方もあります。すべてのことが理性で解決することではなく、我々は欲望の世界で、人の道を誤ることもあります。そして、そのことを真から悔いても、毅然として職務を執行し、消えていく「魂」とも向き合わなければなりません。この経験を経て近隣の子ども食堂で「若葉義塾」を立ち上げて学習指導を行い、学習を通じて非行・犯罪防止のために奉仕することに意義を見つけて活動しています。



岡田様ご講演



相名誉会長のご挨拶

相大二郎さんを悼む



諸行無常の響きを伝え、沙羅双樹の花の色は、盛者必衰の理とか。生あるものの宿命とはいえ、京都市山科にある一燈園・燈影学園名誉学園長、全国通信三田会顧問の相大二郎さんの死は、まことに逝かれて惜しく、去られて悲しいことであります。

相大二郎さんは、昭和11年京都に生まれ、昭和47年慶応義塾大学文学部哲学科を卒業。京滋通信三田会「都鳥の会」会長、京滋通信三田会会長を歴任されました。平成12年7月には神奈川通信三田会30周年記念祝賀会で記念講演「自分さがしの旅」をされています。

平成21年5月には学園長をされていた一燈園で、全国通信三田会春期幹事会を開催。倉田百三が「出家とその弟子」を書いた部屋など、36haの敷地に在る一燈園・学校法人燈影学園についての案内もしていただきました。

一燈園は、明治37年西田天香によって創始されたもので、「自然に適った生活をすれば、人は何物も所有しなくても、また働きを金に換えなくても、許されて生かされる」という信条のもとに、常にさんげの心をもって無所有奉仕の托鉢生活を行っているところです。

相さんは、昭和53年には日本ユネスコ協会連盟より国際理解教育活動最優秀賞を受賞。また、長年のボランティア活動により平成5年にアルベルト・シュバイツァー賞を受賞。平成23年「教育者 文部科学大臣表彰」を受けています。

相さんはNHK教育テレビ「こころの時代」

明石憲彦 岡山通信三田会 名誉会長を偲ぶ



昨年、当会明石憲彦名誉会長がご逝去なされたことを、ご息からの寒中見舞いの葉書で知った。

昨年1月末の会話では快方に向かっているとのこと。その後、連絡がとれなくなっていた。覚悟はしていたが驚きと残念でたまらない。明石氏は岡山通信三田会の発足はもとより慶應通信設立時から知る重鎮であった。そして私たちが会員にその当時の事を事あることにお話しされていた。真に福澤先生の教えである半学半教を体現されていた。私の明石さんとの一番の思い出は「中四国合同三田会広島大会」にご一緒した折の車中にて、多岐にわたる様々な幅広いお話を聴きたことである。その折に慶應通信と三田会の大切さを実感した。

我々は明石名誉会長の教えとその伝統を受け継ぎ、次の世代に継承するという事を目標として、活動していく所存である。

最後に明石名誉会長のご尽力に感謝いたします。ご冥福をお祈りいたします。合掌 岡山通信三田会 大森伸司(2002法)

東京通信三田会創立55周年報告

下田文行(2023経)

2月10日(土)に文京区湯島のホテル東京ガーデンパレスで行われた「東京通信三田会創立55周年記念式典」に出席致しました。昨年の9月に慶應義塾を卒業した私にとっては、三田会のイベントへの初めての参加となりました。



式典では、伊藤岳之会長の挨拶で始まり、大屋雄裕通信教育部長から祝辞を賜ると、次に、慶應義塾福澤研究センターの都倉武之准教授の講演と続きました。

演題は、「福澤論吉と『塾風』でした。都倉先生は、福澤先生の時代にみられた、上下の分、新しい意見はなく考えないことを是とする儒教主義から、自由・平等・独立をもって進歩していく文明主義への転換することが義塾の学風なのであり、それが義塾の目指すべきもの、そして、その最終的な思想は、学問を修めた自分を卑しめない生き方、すなわち「独立」「自尊」なのであると述べられました。語られたエピソードはどれも興味深く、あっといふまの講義時間でした。

記念撮影を経て、山岡恒夫全国通信三田会会長の祝辞と応援指導部のエールが始

塾員紹介



全国通信三田会 副会長 高橋 豊さん (1996経、2000法)

コロナ禍では真っ先にZoom会を率先したPC講師であり、柔道指導者、スポーツカメラマン等、多方面で活躍の高橋豊さんをご紹介します。【聞き手・星野寿美

生い立ちから教えてください。

戦時中に八王子駅前生まれ、2ヶ月半後に父が病死、母の姉を頼り平塚に生まれました。しかし、近くに軍需工場があったため、米軍の空爆に遭遇しました。焼夷弾や機銃掃射の中、母に背負われ逃げ惑ったと聞いています。この時、伯母に背負われた従兄が焼夷弾で亡くなりました。平塚を逃れ、両親の故郷山形に疎開し、小学校2年に再度平塚へ上京します。この間、母は幾多の大病を患い生死を彷徨いました。母一人一人生活は続き、多くの方々の助けを受けながら生き延びることができました。

大変な中でも学業への興味は絶大だったそうですね？

子供の頃、日本人初のノーベル賞者湯川秀樹のニュースをラジオ放送で聞きました。強烈な印象を受け、科学と技術・未知の世界に憧れました。経済や法律は、時々刻々と約束が変化します。約束が守れない人は信用できません。科学は普遍的な事象や事実が再現できます。技術は正しい仕組み

そして、慶應入学、三田会へと繋がるのです。

人の道は出会いの連続、一期一会に必然と偶然が重なり合うものです。科学と技術は競争の世界、将来に境界を感じました。技術から管理の世界へ、人間社会の中で、「時間軸(歴史)」と「空間軸(地域)」の中に存在する「普遍的ルール(取引)」に気がきました。基礎から学び直そうと慶應義塾の通信教育を選択しました。学問は独学が基本、慶友会などに参加しませんでした。卒業後、三田会なる組織を知り、誘いを受けて加入した次第です。三田会は地球規模で存在し、塾員が多種多様な場で活躍しています。魅力的なネットワークに引き込まれ、趣味の旅行に託け、新たな出会いに感謝している現在があります。

今後へのご意見などお願いします。

人生は健康第一、年齢に応じ体力の衰えを感じながらも、新たな挑戦を探りたいと思っています。気力の原動力は、高校時代から始めた「講道館柔道」、幾多の人生の困難を乗り越えてきました。いま世界は激動の渦中に在り、戦争や飢えに苦しむ人々が多くいます。平和を求めて感謝しつつ、善なる夢を描き、善なる社会を求め、善なる道を歩みながら、余生を大切に行動したいです。

*素晴らしいお話をありがとうございました。

注(1) 慶應義塾の特徴 <https://www.tsushin.keio.ac.jp/about/feature.html>

(2) 長谷山彰「2018年度大学通信教育課程入学式式辞」『三色旗』慶應義塾大学出版会、2018年8月号、No.819、pp.2-5。

わが町紹介

愛知県知立市・知多市

愛知通信三田会 堀尾厚子 (2015法)



名古屋生まれの三河育ち、終の棲家を尾張にし、きしめん・味噌煮込・エビフライ大好きな生粋の愛知県民です。愛知県民にさああまり知られていない前住所知立市と、2年前に越してきた現住所知多市についてご紹介...

知立市は、歴史的には何もない小さな街ですが、歴史ある街で、東海道五十三次の39番目の宿場町でした。その中でも三河八橋は「伊勢物語」で在原業平が、「からころも きつつなれにし つましあれば はるばるきぬる たびをしぞおもふ」の折句の技法で詠んだ「かきつばた」で有名です...



知立市の八橋かきつばた園



知多市の新舞子マリンパーク

知多市は15kmの海岸線に、火力発電所、製鉄所等の臨海工業地帯があり、内陸は田畑、養鶏場のある農業地帯です。古くは知多木綿が有名で、観光名所として梅林の佐布里池、新舞子マリンパークがあります。最近では、大型戸建団地も増えましたが、田畑・竹林しかないのどかなところで、ジョウビタキ、コゲラ、ウグイスなど自宅で野鳥の会状態です...

2024年 慶早レガッタでの交流会

神奈川通信三田会会長 竹原 貢 (2019経)



2024年4月21日(日)・第93回慶早レガッタ競技が春の隅田川を舞台に行われました。全国通信三田会・神奈川通信三田会は恒例の「慶早通教OB交流会」を浅草神谷パーで顔見せ懇親会、桜橋で競技応援のあと、居酒屋のノースイド懇親会で交流を深めました...

勝利ボートから順に応援席に挨拶、両校応援歌の合唱とエールの交換等ご存知の通りの次第でした。



2024年度 総会報告

広島通信三田会 総会報告 瀬戸田 誠 (1989経)



4月20日(土)、広島市内にて開催。10時〜総会は、いつも集う「広島市まちづくり市民交流プラザ」3階フリースペースにて、出席7名・委任状11名・欠席4名となり、会は成立となった。議題の活動報告・次年度の活動予定の中で、特に

書評 『福翁夢中伝・下』を読む

全国通信三田会副会長 吉浜 健二 (1995法)



①「新卒入会(予定)者2名の紹介」はとも期待が持てる報告で、うち1名は、ユニコン賞に瀬戸田会長が推薦したとのこと。とても楽しみである。②「会則改定・交通費の支給」については、現状の収支を確認し、交通費補助額を決める変動制とすることで、会の財政維持を支えることを確認した。ほか、個々に議案は報告・議論され、結果満場一致で採択された。

上巻は序文・第一話「すべては咸臨丸にはじまる」から第五話「神出鬼没は政治家の常態まで」の372頁、下巻は第六話「師とその弟子から第十話一片の論説天を動かす・エピソード」までの324頁。発行は2023年12月15日の大作である。著者は慶應義塾大学法学部卒。内容は主人公の福澤諭吉が、慶應・明

治から現代まで俯瞰する「わがはい(吾輩)」として活躍。明治23年1月の大学始業式で「学問に凝ることなれ。天下無数の俗物と雑居して俗事をおこない、その俗を聖にまで高め学問の区域をも拡むることを謀るべし」と訓示した。小泉新吉、小泉信三、小幡篤次郎、北里柴三郎などとともに、下巻には、ジョン万次郎、川上音二郎、岩崎桃介、森鷗外、伊藤博文、松永安左エ門、清水次郎長などの交流が、まるで夢中のように現在進行形で描かれている名著である。上下併せて精読を希望します。なお、下巻巻末の「参考文献」には7頁に及ぶ膨大なリストが挙げられている。著



発行所: (株)早川書房 上巻 ISBN978-4-15-210287 ¥1800E. 下巻 ISBN978-4-15-210287 ¥1800E. 以上

2023年度 会計報告・監査報告



(1) 収支計算書

(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

Table 1-1: Income Statement (Income side). Columns: Item, Budget, Actual, Change. Rows include membership fees, interest, donations, etc.

Table 1-2: Income Statement (Expenditure side). Columns: Item, Budget, Actual, Change. Rows include meeting fees, administrative expenses, postage, etc.

(2) 貸借対照表

2024年3月31日現在 (単位:円)

Table 2: Balance Sheet as of March 31, 2024. Columns: Item, Previous Year Actual, Current Year Actual. Rows include assets (current, fixed) and liabilities (current).

(3) 財産目録

2024年3月31日現在 (単位:円)

Table 3: Asset Inventory as of March 31, 2024. Columns: Item, Internal Amount, Amount. Rows include cash, deposits, and other assets.

執行部においてパソコン3台、プリンター1台、会員管理ソフト一式、取材用カメラ一台管理保有。スピーカフォン1台